

車種	配置消防署	特徴・効果（購入金額は税込）
消防用ドローン車両【写真】	南消防署	<ul style="list-style-type: none"> 消防用ドローン及び資機材を効率的に積載するために機能強化したドローン専用車両です。 災害現場において、効果的な情報共有をするために、ドローン映像を映すモニターを設置しました。 〔購入金額〕 6,467,340円
水槽付消防ポンプ自動車	足助消防署 旭出張所	<ul style="list-style-type: none"> 消防水利の確保が困難な地域に対応し、より多くの放水時間を確保するため、積載水量を1,500Lから2,000Lに増量し、CAFS（圧縮空気泡消火装置）を新たに装備しました。 〔購入金額〕 59,950,000円
	北消防署 保見出張所	<ul style="list-style-type: none"> 枯草火災等に車両積載水などで対応できるように、積載水量を1,500Lから2,500Lに増量しました。 車両が進入できない、川・池等から揚水するために、可搬式小型動力ポンプを新たに積載しました。 〔購入金額〕 51,480,000円
消防ポンプ自動車	北消防署 藤岡小原分署	<ul style="list-style-type: none"> 現場到着後、即座に放水活動ができるように、600Lの小型水槽を新たに設置しました。 この車両の配置により、分署の消防車両は全て水を積載しています。 〔購入金額〕 38,940,000円
高規格救急自動車 (高度救命処置用 資機材含む)	足助消防署 旭出張所	<ul style="list-style-type: none"> 交差点など出会い頭事故の予防のため、フロントバンパー側面に赤色点滅灯を新たに設置しました。 車両側面の視認性を向上させるため、黄色の反射材を新たに貼り付けました。 〔購入金額〕 25,097,226円
大型水槽車	中消防署	<ul style="list-style-type: none"> 水槽を角型とすることで、資機材の積載スペースをより多く確保しました。山林火災用の資機材等の追加の積載が可能となりました。 〔購入金額〕 110,000,000円（2台分）
	南消防署	

【写真】 消防用ドローン車両

(ドローン積載)



(投影モニター)

